

令和8年度東北ブロック再犯防止シンポジウム

つなげる支援が未来を変える～広げよう、支援の輪と希望のバトン～



～“立ち直り”について、考えてみませんか？～

学生向けプログラム参加校募集

日時

令和9年1月17日（日）（13:30～17:00予定）

場所

仙台市中小企業活性化センター多目的ホール
仙台市青葉区中央1-3-1A ER 5階

募集人数

宮城県内の高校生 3チーム程度の予定

（※1チームあたり3～8名、教職員又は保護者1名以上の同伴必須）

開催概要

架空の事件を題材に、検察官のつもりで犯人の更生（立ち直り）のために何をすべきかなどを検討し、シンポジウムで発表していただく予定です。

（※事前に参加者と検察庁担当者等の打合せを行う予定です。予備知識は不要です！）

募集締切

令和8年6月30日（火）

※先着順、予定数を超えた場合は募集を締め切らせていただきます。

主催 東北矯正管区、東北地方更生保護委員会、仙台法務局、仙台高等検察庁

問合せ先

仙台高等検察庁企画調査課

☎ 022-222-0752

申込みはこちらから！

たくさんのご応募お待ちしております！



広報ホームページ https://www.kensatsu.go.jp/kakuchou/h_sendai/page1000012.html



令和8年度東北ブロック再犯防止シンポジウム

学生向けプログラム募集要領



1 はじめに

今年度の再犯防止シンポジウムは、「つなげる支援が未来を変える～広げよう、支援の輪と希望のバトン～」をテーマとして開催します。

再犯防止を含む刑事司法・刑事政策について、高校生の皆さんを始めとした若い世代や一般の方々に広く知っていただき、理解を深めてほしいとの思いから、今回、学生向けプログラムを実施することになりました。

2 実施概要

架空の事件を題材に、検察官になったつもりで、犯人の今後の更生(立ち直り)を念頭におき、どのような処分が適切か、そのためにどのような捜査が必要か等を検討していただき、発表していただく予定です(内容は変更になる場合があります。)

また、事前に参加者と検察庁担当者等の間で打合せを行い、事例の解説や検討にあたってのアドバイス等を行う予定ですので、予備知識等は必要ありません。

3 応募方法

参加を希望する場合は、各高校の担当の先生に参加したい意思を伝え、先生を通じて、参加申込書を下記申込み先へメール又は郵送で提出してください。申込みにあたっての注意事項は次のとおりです。

- ・1チームあたりの人数は、3～8名としてください。
- ・1チームにつき、最低1名以上の引率者(教職員又は保護者)の同行を必須とします。
- ・参加チーム数は、3チーム程度を予定していますが、参加希望が予定数を超えた場合は、申込みの先着順(郵便又はEメールの到着順)とします。なお、1校で複数のチームの申込みも可能ですが、参加チームの予定数を超えた場合は、各校先着1チームずつとします。

4 募集期間

令和8年6月30日(火) 必着

5 注意事項

- ・シンポジウム当日は、午前中(午前10時頃予定)に段取りの確認を行う予定ですので、その前に会場にお越しいただくことになります。
- ・シンポジウム当日や事前打合せの様子等を、検察庁職員等が写真・動画撮影する場合があります。撮影した写真・動画は、組織内又はホームページ等での実施報告や、各種媒体での報道等に使用される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・シンポジウムや事前打合せに参加する際の交通費・謝礼・経費等については自己負担でお願いします。

6 申込先(お問い合わせ先)

仙台高等検察庁 企画調査課

〒980-0812 仙台市青葉区片平一丁目3番1号

TEL:022-222-0752 E-mail:ppo43-kicho.7ep@i.kensatsu.go.jp